PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第39号

'99,2,1 発刊

新連載！

Yeah!マネージャーNo.1 ～今年の抱負の巻～

作 チーフ井上

拝啓 February

寒さの骨頂、骨までしみる2月です。強力なインフルエンザの攻撃でうちの一番若いスタッフも一週間寝こみました（詳しくは右）しかし、ロッキートップはリフレッシュ！します。新マスター田口氏登場です。どうぞよろしくお願いします。

アメリカ南部物語 ～ブルーグラスとビルモンロー～

ケンタッキー州ロジーンで1911年農家の10番目の子としてビルモンローはこの世に生を受けた。音楽一家だったモンロー家に育ったビルだったが視力に障害があったため楽譜も読めず耳でハーモニーを聴きとらねばならなかった。彼に最も影響を与えたのは叔父だった。スクエアダンスのバイオリン奏者だった叔父はラバの背に乗って地方を巡業していた。幼いビルはその叔父について回り音楽を身につけていった。ビルは大きくなると自分でバンドを結成し教会や学校で演奏していた。そして1936～1938年の間に兄と共にモンローブラザーズを結成し60曲のレコーディングをしている。その曲の多くは黒人歌や伝統的なアパラチアのヒルビリー音楽だった。ビルモンローを有名にしたのはレコードだけではない。1920年代に続々と開設された民間ラジオ局が放送した中でとりわけ人気の高かった音楽番組「グランド・オル・オープリー」が彼の名を不動のものとした。当初はダンスのための音楽を流す番組としてホテルの一室から流していたがリスナーの人気が高まるにつれ、ナッシュビルのライマン・オーディトリアムに場所を移した。次第にアマチュアミュージシャン達がスタジオに押し寄せるようになり、番組はあたかもカントリーミュージックフェスティバルの様相を呈してきた。そしてビルモンローが1939年オープリーに出演するようになると番組は全国ネットで放映されるようになり名声は一気に全米に広まった。彼のバンドが演奏するオールドファッションなイングランド・スコットランド・アイルランド起源の音楽には明らかにゴスペルやブルースに流れているハイピッチでエネルギッシュなブレイクのあるリズムがあった。ブルーグラスがカントリーミュージックから独立して一つの分野として認められるようになったのは1945年のフォノグラフ録音「ビルモンロー＆ブルーグラスボーイズ」とオープリーでのステージである。モンローがマンドリン、レスタ・フラットがギター、アールスクラッグスがスリーフィンガースタイルのバンジョー、ハワード・ワッツがバスギター、チャビー・ワイズがフィドルを担当したブルーグラスボーイズはカントリーミュージックに新しい息吹を吹きこんだ。ちなみにブルーグラスという命名はケンタッキー州の俗称「ブルーグラス・ステイト」から取ったものである。

◎投稿何でもOK お待ちしています →チーフ井上の方へ

スタッフのひとりごと

～丸山アキラのインフルエンザ闘病記～

ロックギターリストとしてプロを目指し、貧乏生活を続ける丸山君(22)だがそんなハイテンションな彼がインフルエンザにやられてダウンしてしまった。原因は栄養失調と読んだ。

この間、風邪をひいてずっと家で寝こんでいた。布団に入っても寒いので、ストーブをつけっぱなしにした。そのうち灯油が切れてしまいちょー寒いままじっとしてたのですが「このままでは死んでしまう」という気がしてきて病院に行こうと思ったのですが保健証がないことに気づいた。とりあえず熱が高いようなので体温を計ろうと思ったのですが体温計がないことに気づいた。買えばいいんだと思ったのですがお金もない事に気づいた。しかし、ここで神からのお恵み！命がけで部屋中を探したら昔買ったかぜ薬を発見！泣きながら飲んだら、だいぶ楽になった。しばらく寝るとかなりいい感じになってきた。栄養をつけなきゃと思い「そうだ！こういう時はおかゆだ」とヘロヘロの状態で米を研ぎ、なべに水を入れてたいたのですがふたを開けてびっくり！おかゆではなく、普通に米がたけてしまったのだ！どうも水が少なかったらしい。塩などを入れて食べたのですが食べきれないほどの量を作ってしまい大変でした。やがて熱もひいたようでバイトにも行けるようになったんですが、いったい何度(℃)まで行ったんだろう？たぶん39℃はあったんじゃないかなー そんなことよりバイトを2日も休んでしまい、今月もまたお金に苦しい日々が始まります。でもハートはいつもSEX!Drug!R&R! あ～久々にビスケット食いてー！

CMコーナー!!

2/6(土) "モダンフォークな夜"

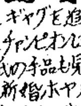
PUSH PIN MEMORY
MASH LIQUOR

P.P.M完全コピーバンド　キングストントリオ完全コピーバンド

モダンフォークを愛してやまない2バンドの共演。長年鍛えてきた絶妙なコーラスと演奏が聴けることと思います。

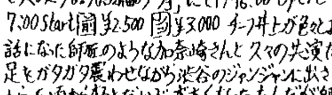
2/27(土) "ブルーグラススペシャルナイト" シュガーオントップ(From関西)

ジミーマーチンとギャグを追求し昨年度岐阜ブルーグラスコンテストにてチャンピオンになったグループ。とにかく楽しい。Vo.ねじまきお氏の手品も見れることと思います。Maのハッ繁さんは新婚ホヤホヤでほとんど消えてしまったハイロンサムハートをふりしぼり、ガッツなマンドリンを爆発させてくれるでしょう。マイク1本でリード、コーラスをとるというオールドスタイルも見どころです。



2/28(日)

ロッキートップチーフの井上智資がもと古井戸（さなえちゃんがヒット）の加奈崎芳太郎と共演する。船橋の「月」にてPM6:00 open 7:00 Start 前¥2,500 当¥3,000 チーフ井上が色々とお世話になった師匠のような加奈崎さんと久々の共演だ。足をガタガタ震わせながら渋谷のジャンジャンに出させてもらった頃からするとだいぶ図太くなったもんだが師匠に負けねーぜ んー心を燃やしている。日本のフォーク好きな方是非見に来て下さい！



ブルーグラスな人達 ～Meet The Bluegrass～

ウエストコースト

ブルーグラスとの出会いを通してブルーグラスを考察するこのコーナー。今回はブルーグラスもできるウエストコーストミュージシャン**北農英則さん**(42)です。オン・ザ・ボーダーという楽器屋を営みながら月に何本もライブをこなす北農さんですが、ギター、マンドリン、バンジョーと何をやってもかっこいいプレイをする。その魅力そして、フェスの朝めしにオートミールを食べるほどのアメリカンな体質。その謎にせまってみたい。

→日本のチベットと言われる鳥取県出身。1つ上の姉がエレクトーンをやるかたわらギターを弾いていた。自然と音楽にひかれていき、小学校6年の時、ついに姉のギターを手にした。初めて弾いた曲は**ベッツィ＆クリス**の「**白い色は恋人の色**」だった。平凡の歌本を見ながら練習した。次の年のお年玉でスズキのギターを手に入れ当時はやりの**吉田拓郎**や**赤い鳥**などを何となく弾いていた。心の片隅で「違うんだよなー」と思いながら。中学に入ってフォークデュオを組んだ。秀雄君という友達とだったので英雄と英則でジローズ（戦争を知らない子供達）にちなんで**ヒデーズ**と名付した。かっこ悪～い！しかし2人のハモリは絶妙で当時の中学の中ではすごかった。そして中3になると、ジャジャーン！**エレキ小僧**になっていく。**ディープパープル、レッドツェッペリン、クリーム**etc.**ブリティッシュロックの洗礼**を受けた。同時に**CCR**も好きだった。この辺が天性的にアメリカンな所だろう。NHKの「**ヤングミュージックショー**」というので海外の音楽番組を流してた。そこで見たクリームの**エリック・クラプトン**が煙草をくわえながら「こうやってギターを弾くんだぜ！」ガツ！と**クライベイビー**を踏みこみ、SGを弾く姿にしびれまくり、グレコのSGを買い、煙草も買った。しまいには**ロリーギャラガー**というマニアックなギターリストのファンになり学校を休んで大阪までライブを見に行ったりした。それから高校を卒業するまでトリオバンドでエレキを弾きまくった。ダンスパーティ、学園祭では引っぱりダコですっかりスター気取の北農さんだった。当時ライバルだったバンドのギターが**山本恭司**（バウワウ）だった。お互いガンを飛ばし合いながらしのぎを削った。そして東京に出てプロになるんだー！とギターを背負い上京。色々とコネがあるかなーと**イシバシ楽器**で働くようになる。東京の人達とバンドをやったり楽器屋での交流の中で、いつの間に**イーグルス**にひかれていく。アメリカンな体質が突然開花していったのだ。**バーニーリドン**が弾くバンジョー、マンドリンを必然的に弾くようになる。フォビマンではなく**Take It Eazy**が始まりだった。イシバシの中でもバンジョーを弾くというだけの理由でブルーグラスコーナーの担当にさせられる。それが運のツキだった。ついに変人ブルーグラッサーとの交流が始まり、**NGR、カントリーガゼット**etcを聴くようになり気がついたらブルーグラスが好きになっていた。ビル・モンローはダメだった。今でもダメらしい。その後独立して**オン・ザ・ボーダー**という名前からしてウエストコーストな楽器屋を始める。**音楽を売る楽器屋**をやりたいという思いをいだき、現在に至る。フェスバンドから始まった**Ash Grove**をはじめモーニングミルクティ、HEART LANDなど様々に活躍する北農さん。**ブリティッシュロック小僧からアメリカンアコースティックおやじへ**の変化がなせる奥深さというものだろう。**Something Fine**という20年来のウエストコーストバンドと共にブルーグラスも積極的にやりたい！という事です。これからの北農さんもまた楽しみですね！ →**2/3(水) HEART LAND**（ニューカントリー）で出演します。